

いざという時どうすればよいか

～災害時要援護者の避難・被災生活を考慮した防災対策を考える～

1995年の阪神・淡路大震災の発生以降最大震度7の大地震が多発し、被災者には高齢者、障がい者など災害時要援護者が多く含まれます。生活上の見守りや支援を要する災害時要援護者は、自宅や入所施設から安全に避難できるかどうかという問題を抱えると共に、被災後の避難所や仮設住宅での厳しい被災生活による災害関連死のリスクが大変高いといえます。国及び自治体の防災対策においては、災害時要援護者が安全に避難でき、災害関連死を防ぐ対策が取り組まれています。有効に機能していないそうです。この講演では、南海トラフ大地震や首都直下型地震などの大地震がいつ発生してもおかしくない現状を踏まえ、災害時要援護者の安全な避難、被災生活を可能にする上での現状の課題と対策のあり方についてお話を伺います。

2026.7.02(木)

10:15～11:50 (受付開始 10:00)

会場 ウィンクあいち 13階 中会議室 1301号室
名古屋市 中村区 名駅 4丁目 4-38 ※建築総合展会場内

講師 児玉 善郎氏 Kodama Yoshiro 日本福祉大学 工学部建築学専修教授

定員 40名

参加費 会員(専攻建築士・ゴールド会員): 1,000円 会員: 1,100円
非会員(専攻建築士): 1,400円 非会員: 1,500円

申込 下記フォームに必要事項をご記入の上
電子メールまたはファックスにてお申し込みください

締切 令和8年6月25日(木) (※定員40名になり次第締切)

主催 公益社団法人愛知建築士会／まちづくり委員会福祉部会

申込先 公益社団法人愛知建築士会／事務局
E-mail: mail@aichishikai.or.jp FAX: 052-201-3601

C P D 2単位(申請中) ※事前申請: 申込書で事前に申請してください



児玉 善郎氏
Kodama Yoshiro

日本福祉大学
工学部建築学専修教授
博士(工学)
技術士(都市及び地方計画)

1959年 兵庫県生まれ
1985年 神戸大学大学院工学研究科環境計画学専攻修了
民間の都市計画事務所主任研究員、
神戸大学工学部建設学科技官等を経て
2000年 日本福祉大学社会福祉学部助教授、
2004年 同学部教授 大学院社会福祉学研究科長 社会福祉学部長等
2017年～2023年 日本福祉大学学長
2025年 同大学に新設された工学部に移籍、
ウェルビーイング工学研究センター長に就任 現在に至る

参加します

- いずれかに○印をつけてください
- () 会員 (専攻建築士・ゴールド会員)
 - () 会員
 - () 非会員 (専攻建築士)
 - () 非会員



参加申込は
こちらからもOK

氏名	ふりがな ()
E-mail:	@
支部名	
CPD 番号	

